

# 関西大学幼稚園

## 2018 年度学校評価報告書



2019 年 3 月

# 目 次

## 2018 年度 関西大学幼稚園 学校評価（自己点検・評価）分析

1 本園の概要	1
2 今年度の教育活動状況	1
3 評価の実施にあたって	2
4 評価の分析	5
5 学校関係者評価委員会からの評価結果	31
6 「学校評価（自己点検・評価）報告書」に対する園長の意見書	32
7 アンケート結果	33

## 1 本園の概要

関西大学幼稚園は、教育基本法を十分に尊重し、すべての園児が各自の人間性や能力を全面的に開花させていくことを目的として1951年に開設され、創立67年目を迎えている。

本園は、「自主性の陶冶」「協同性の涵養」「生きる力の育成」の3本の柱を教育の基本方針とし、様々な環境や境遇に育った子どもたちが、幼稚園の新しい環境と集団生活に適応できるように教育活動を実践している。「いきいきと自己表現ができ、積極的にいろいろなことに取り組むことのできる子どもにすること」、「みんなで協同して仕事をしたり、遊んだりすることのできる子どもにすること」、「困難に出会った時、前向きに解決していける豊かな感性と生活の知恵をもつ子どもにすること」を子どもの育ちのなかで見逃すことなく働きかけながら、子どもが子どもらしい感性を發揮し、心豊かに人間らしく育つことを、時代を越えて守っていかなければならないと考えている。

また、本園は自然環境に恵まれ、園舎前面に運動場があり、園庭には楠、桜、いちよう、せんだん、くぬぎ、かえで、つつじ、つばき、きんもくせいのほか、裏山には松、かし等の樹木に囲まれている。また、ざくろ、みかん、柿、ジューンベリー、ブルーベリー等の実のなる木や草花の存在は、子どもたちに四季折々の自然を身近に感じさせる楽しみとなっており、情操教育の一助となっている。

このような環境の中で、教育学や心理学及びその他の諸科学の進歩に即しながら、子どもたちの感覚を豊かにすることに重点を置きつつ、認識、情操、能力、健全な心と体の発達をはかるための保育を開設以来積み重ねている。

一方、本園を運営する学校法人関西大学は、「Kandai Vision 150」に基づき、その実現のために、中期行動計画を策定し実施している。本園においても、この枠組みの中で基本方針と中期行動計画の連関を意識しながら教育活動を実践している。

## 2 今年度の教育活動状況

本年度の中期行動計画で掲げた「考動力ある人材育成に資するための“つながり(連携)”の強化」に関しては、関西大学大学院心理学研究科の「児童臨床心理学実習」の一環として本園で短期実習を実施することが定着している。また、関西大学国際部と連携し、普段の保育時間中に外国人留学生を招き園児との交流を深める取組も定着しており、今年度は5月から1月の間に計25回の機会を持ち、延べ42名の外国人留学生が参加している。加えて、2017年度から英語を母国語とした留学生との交流を13回設定し、交流内容は充実した

ものとなった。また、関西大学第一中学校との「総合学習」における、生徒と園児の交流を実施することができ、双方にとって有意義な交流となった。

「子育て支援施策の拡充」においては、「希望（のぞみ）クラス」と並行して実施している預かり保育「なないろ」を、午前保育後（水曜日）、長期休暇中（夏休み14日間・冬休み2日間）、夏期保育中（4日間）を実施したところ、予想を上回る参加人数となった。また、2歳未満児親子対象の「おいでおいで」については、3回開催した。うち1回はホールにおいて遊具を利用した内容を計画し、好評で計26名の参加者があった。

### 3 評価の実施にあたって

本園の自己点検・評価（学校評価）は、関西大学幼稚園教育課程におけるすべての内容を複数の項目に分類し、3年かけて一巡する取組を2009年度より行い、本園のすべての教育を3度にわたり点検・評価を行った。

幼児教育は、何より保護者（家庭）との連携が重要であることから、今年度は、保護者と直接関わる「クラス懇談会」に焦点をあて、本園の教育内容やその意図が保護者に十分伝わり、子育てに役立つものになっているかを点検・評価する取組にした。また、クラス懇談会においては、その時期に含まれている教育内容を教員で点検・確認した上で、保護者にも体験してもらうことにした。本取組については、2018年5月31日開催の学校法人関西大学自己点検・評価委員会（併設校部門委員会）において承認されている。これを受けて、本園では下表のように評価活動の年次計画をまとめた。

2018年度 クラス懇談会の内容

	年少組	年中組	年長組
4月	連絡事項	連絡事項	連絡事項
5月	★歌、手遊びについて ★朝・帰りの集まり	個人懇談のためなし	個人懇談のためなし
6月	★お弁当・給食 ★制作活動（みつろう粘土）	★リズム運動について ・健康診断 ・絵本の貸し出しについて ・園外保育について	★5月の節句について ★制作活動（絞り染め） ・誕生日のお祝い
7月	なし	★制作活動（七夕飾り） ★七夕について	★野菜の栽培・季節の実り ・プール遊びについて ・夏の夜の集いに向けて ・夏休みの過ごし方

9月	★お月見について ・通園について	★わらべうた遊び ・お月見について ・安全教育 (防災・防犯訓練)	・お月見について ★おやつ作りについて ・戸外での自由遊びについて ・体育的な遊びについて
10月	★運動月間・運動会参観 ・ペンダント制作 (3クラス合同)	★運動月間・運動会参観 ・ペンダント制作 (2クラス合同)	★運動月間・運動会参観 ・ペンダント制作 (2クラス合同)
11月	★制作活動(ぬらし絵) ・親子遠足について ・散策について ・冬のつどい	★自由遊びについて ★芋ほり・焼き芋について ・チューリップの球根植え について	★休日参観・お店やさん ごっこ ・お餅つきについて ・小学校に向けて
12月	個人懇談のためなし	グループ懇談会	個人懇談のためなし
1月	個人懇談のためなし	グループ懇談会	個人懇談のためなし
2月	★人形劇について ・絵本について ・ひなまつり	★手伝いについて ★豆まきについて ・年長児との混合保育に ついて	★制作活動 (マフラー作り) ・3年間の成長の姿
3月	・年中に向けて	・小鳥・かも・うさぎ当番 (年長に向けて)	なし

\*クラス懇談会終了後に、毎回保護者アンケートを実施し、保護者の悩みや質問については次回のクラス懇談会での話題にする。

\*★印は、今年度の学校評価項目である。

\*今年度クラス懇談会で取り上げる、手遊び・うた・絵本・制作等は本園の教育内容の一部である。よって次年度も「クラス懇談会」に焦点をあてた取組にすることで、教育内容のすべてを点検・評価することになる。

また2018年度の本園における主な自己点検・評価活動は以下のとおりである。

日付	議題	内容
4月23日(月)	今年度の学校評価について	
5月11日(金)	今年度の保護者アンケートについて	・アンケート項目の作成
5月14日(月) 5月16日(水) 5月18日(金)	年少組クラス懇談会にて アンケート実施	・今年度の学校評価アンケート 集計
6月1日(金)	年中組クラス懇談会にて	・今年度の学校評価アンケート

6月4日(月)	アンケート実施	集計
6月13日(水)	年長組クラス懇談会にて アンケート実施	・今年度の学校評価アンケート 集計
6月25日(月) 6月26日(火) 6月28日(木)	年少組クラス懇談会にて アンケート実施	・今年度の学校評価アンケート 集計
7月3日(火) 7月9日(月)	年中組クラス懇談会にて アンケート実施	・今年度の学校評価アンケート 集計
7月10日(火) 7月12日(木)	年長組クラス懇談会にて アンケート実施	・今年度の学校評価アンケート 集計
7月31日(火)	2・3学期に実施するアンケートにつ いて	・アンケートの作成
9月10日(月) 9月11日(火) 9月12日(水)	年少組クラス懇談会にて アンケート実施	・今年度の学校評価アンケート 集計
9月13日(木) 9月14日(金)	年長組クラス懇談会にて アンケート実施	・今年度の学校評価アンケート 集計
9月19日(水) 9月21日(金)	年中組クラス懇談会にて アンケート実施	・今年度の学校評価アンケート 集計
11月8日(木) 11月9日(金)	年中組クラス懇談会にて アンケート実施	・今年度の学校評価アンケート 集計
11月15日(木)	年少組クラス懇談会にて アンケート実施	・今年度の学校評価アンケート 集計
11月28日(水)	年長組クラス懇談会にて アンケート実施	・今年度の学校評価アンケート 集計
2月5日(火) 2月7日(木) 2月8日(金)	年少組クラス懇談会にて アンケート実施	・今年度の学校評価アンケート 集計
2月18日(月) 2月21日(木)	年中組クラス懇談会にて アンケート実施	・今年度の学校評価アンケート 集計
2月25日(月)	教員用アンケート実施・集計	・今年度の学校評価アンケート 集計
2月27日(水)	年長組クラス懇談会にて アンケート実施	・今年度の学校評価アンケート 集計
3月12日(火)	学校関係者評価委員会開催	

本園の学校評価活動の特徴として、2010年度から保護者にも協力を仰ぎ、保護者と教員との間で本園の教育についての意識が共有できているかを検証している。今年度はクラス懇談会終了後に毎回保護者アンケートを実施したので、回収率は100%であった。

#### 4 評価の分析

##### (1) 年少組5月クラス懇談会

##### ア. 朝の集まり・帰りの集まりについて

###### 【現状の説明】

朝の集まり・帰りの集まりにおいては、教員や友だちの話を聞く姿勢を身に付けること、自分の体験したことや感じたことを自分の言葉で話すことをねらいとしており、3年間の積み重ねは、小学校において始まる45分の授業を聞く姿勢と積極的に授業に参加する姿勢を培うものと考えている。また、教員や友だちと季節にあった歌を歌い、手遊びを楽しむことで、みんなで楽しさを共有できる時間を持つことを大切にしている。

朝の集まりはクラス全員が輪になって座り、担任は中央のテーブルに置いたろうそくに火をつけその灯りの中で朝の集まりを始める。そしてクラスみんなが手を繋ぎ、一人ひとりの子どもの名前を歌うように呼んでいく。子どもは自分の名前が呼ばれることで、クラスの一員であることを感じる。教員は身近な自然や季節の変化などに気づかせる話題を上げ、子どもが聞きたいと思えるような話の工夫をしている。また、その話を聞いて、子どもが自分から話したくなるような雰囲気を作るようにしている。子どもは思いつくすぐに自分の思いを伝えたくなり、話をしたくなってしまうものであるが、そのような時には人の話を最後まで聞いてから、自分の話をするように伝えている。その積み重ねは聞くという力を育み、周りの雰囲気を感じ、集団を感じる力を育むものと考えている。

帰りの集まりでは、朝と同じように輪になって座り降園前の時間を過ごす。教員は、子どもたちが幼稚園で遊んだ余韻を感じながら、明日の登園を楽しみに出来るようなひとときが持てるようにしている。そして友だちと手を繋いで帰りの歌を歌って、降園の時間を迎える。

今回のクラス懇談会では、保護者の方にろうそくの灯りのもとの、手を繋いで一人ひとりの名前を呼び、朝の集まりをすることを体験していただいた。

###### 【点検・評価と今後の取組】

年少児の一学期では難しいが、年中になる頃には子どもが友だちの話を聞き、自分の思ったことや感じたことを言葉で表現できるようになっていく。年中・年長児においては、これまでの積み重ねにより長い時間でも落ち着いて話が聞けるようになっていく。

保護者アンケート調査によると「『朝の集まり・帰りの集まり』の話を聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」の設問に対して、「ろうそくの灯りで心が落ち着くのを感じた。」「自分が名前を呼ばれることでクラスの一員であることを感じた。」「実際にやってみたことでよくわかった。」等の記述回

答があった。また、「『朝の集まり・帰りの集まり』を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。」の設問に対して、「理解できた」の回答が100%であった。実際に体験していただいたことで、雰囲気を感じ理解していただけた結果であると考え。今後もクラス懇談会において保護者の方が体験する機会を設けるようにする。また、教員は目の前の子どもに合った話や、子どもが聞きたいと思う話が出来ているかを、子どもの姿から自己点検するとともに、学年会議や研究保育の反省会で点検していくことを続けていきたい。

## イ. 歌・手遊びについて

### 【現状の説明】

子どもは教員が口ずさむ歌や、メロディーに合わせての手の動きを模倣して楽しむ。歌・手遊びには色々なものがあるが、子どもの気持ちに落ち着きをなくさせるようなものや、ただ流行しているという理由で取り入れるのは避けている。年齢や季節にあったもの、身近に感じられる題材のもの、言葉のリズムや繰り返しの面白さが感じられものを選び、それらを繰り返し楽しむことを大切にしている。

歌は子どもの表現の一つであると考え。そのため歌や手遊びを子どもを集中させる手段とせず、季節やその場面に応じた歌を日々の園生活の中に取り入れ、教員と共に歌うことで、歌う楽しみや喜びを感じることをねらいとしている。また、行事や集会等たくさん的人数で歌う時にはピアノに合わせているが、普段はピアノ伴奏をせず、怒鳴るような大きな声を無理に出して歌うのではなく、周りの声を聞きながら歌うことが出来るように指導している。

今回のクラス懇談会では、実際に子どもたちと楽しんでいる手遊びを保護者の方に一緒に体験していただいた。

### 【点検・評価と今後の取組】

歌・手遊びは、教員やクラスの友だちと一緒に歌うことを楽しみ、その時間を共有している。日々、教員や友だちの声に耳を傾けて歌うことで、自然と人の声に合わせるようになっており、集会等ピアノ伴奏で歌う時は、友だちの声に合わせて歌う経験からピアノにも合わせる事が出来、綺麗に歌うことが出来ている。

保護者アンケート調査によると「『歌・手遊び』を通して関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。」の設問に対して、「理解できた」の回答が96.4%であったが、「『歌・手遊び』の話の聞いたり、一緒に行くことで、思ったことや感じた事があれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」の設問に対しての記述で、「先生の声に合わせて一緒に歌うことで楽しさを感じた。」「家でも子どもとしてみたいと思った。」「身近な虫や花が出てきて、子どもは好きだろうなと感じた。」「自然な感じでされているのいいなと思った。」等の回答があり、懇談会で話を聞くだけではなく、実際に体験されたことで、子どもたちが普段している歌や手遊びに対しての理解が深まったと思われる。また子どもは教員の歌声に合わせて歌うため教員はしっかりした音程とリズムで歌え



るように心がけ、学年で確認していくことを常に努めていきたい。

## (2) 年中組 6月クラス懇談会

### リズム運動について

#### 【現状の説明】

社会環境の変化と共に外遊びの頻度が減り、また子どもの身体を動かす機会が家庭においても少なくなっている現状から、自分の身体を意識して動かす経験をさせる必要があると考えリズム運動を行っている。このリズム運動は、埼玉県にあるさくら・さくらんぼ保育園の創設者の故斉藤公子氏が考案したリズム運動を参考に、本園の子どもたちが取り組めるようにしたものである。リズム運動の取組を集団作りの一環と考え、友だちの姿を励まし認める関係が育つように働きかけている。単独でリズム運動を行う他に、他学年と混合でも行っている。

各学年のリズム運動の取組は、以下のとおりである。

学年	開始時期	回数	取り組み方
年長組	4月	週2回	単独、年少組・年中組との混合
年中組	4月	週2回	単独、年長組との混合
年少組	9月	週1回	単独（初回は年長組との混合）

年少組と年長組の混合リズム運動では、初めてのリズム運動を経験する年少児にとって、年長児の姿を見ることによりリズム運動に興味を持ち、年長児の姿を真似ることで楽しく身体を動かすきっかけとなっている。年長児は身体を動かす年少児を優しい眼差しで見守っている。年中組と年長組の混合リズム運動では、年中児は年長児の動きをよく見て模倣しようとし、年長児は手本となるように積極的にリズム運動に取り組んでいる。

このように異年齢の園児との関わりをもつことで、年少児、年中児は年長児に対して憧れの気持ちを持ち、意欲的に身体を動かすことにつながりたいと考えている。年長児は、年少児、年中児の手本になることで自信につながり、更に意欲的に取り組めるようにしたいと考えている。また、小さい子に対する優しい気持ちを育めるように考えている。

年中組の保護者には、6月にリズム参観を行い、実際に子どもたちが取り組む姿を見てもらっている。また、理解を深めてもらえるようにリズム参観を行う前に、クラス懇談会で上記のリズム運動の話や、生活の中で身体を動かす重要性と必要性を伝えている。

年長組の保護者には3月にリズム参観を行い、リズム運動を積み重ねることで運動面だけでなく心身共に成長している姿を見てもらいたいと考えている。

昨年度より、保護者に“リズム体験”ができる機会をつくり、実際に身体を動かすことで、運動量や身体を動かす楽しさを実感してもらえるようにしている。

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると、「『リズム運動』を通して、関大幼稚園が大事にしてい

ることが理解できましたか。」の設問に対し、「理解できた」の回答が96.4%であった。また、『リズム運動』の話を読み、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構です。お書きください。」の設問に対し、「普段の生活でも身体を動かすことを意識してみようと思った。」「子どもの身体の発達に配慮してくれてありがたい。」「話を聞いて、リズム参観が楽しみになった。」という記述回答があり、クラス懇談会での働きかけで、保護者のリズム運動の取組に対する理解を深めることができたと感じる。

また、「リズム体験」に参加した保護者から、実際に体験することで運動量や楽しさを実感できたと連絡帳で感想を寄せていただき、「リズム体験」によってリズム運動をより理解してもらえたことがわかった。

今後も多くの保護者に理解していただけるようにクラス懇談会で話す内容や伝え方を見直し、保護者の協力を得ながら、リズム運動を継続していくこととする。

### (3) 年長組6月クラス懇談会

#### ア. 「端午の節句」について

##### 【現状の説明】

5月の「端午の節句」は“子どもたちが元気で健やかに育ってほしい”という願いが込められている節句であるという由来を子どもたちに伝えた。

具体的な取組として、金太郎の素話では、力が強い男の子がその力を使って動物たちを助け、やがて大人になった坂田野金時は人の役に立つ侍へと成長していくという話をし、そして世代を超えて歌い継がれている金太郎の歌を歌った。保育室には“花菖蒲”(葉の先が刀のようにとがっていることから、悪いものから身を守ってくれるとされている)を飾り、“菖蒲湯”(お風呂にしょうぶの葉を浮かべ入ると邪気を払い健康でいられる)の話をした。また昔の人が身を守るために使った兜を、年中・年長児で制作した。年長児は大きい画用紙を用い兜を作る際、友だちと一緒に協力しながら作るという作業を通して気持ちを合わせ、楽しく作ることを大切にしている。子どもたちは折りあがった兜を、年少児に見せに行き「元気で大きくなってね。」と自分の作った兜を優しくかぶせる姿があった。年少児との関わりを通して、年長児は年少児のことを想う端午の節句となった。このように「端午の節句」の取組から私たちは、子どもたち一人一人が自分は守られ、大事にされている大切な存在であるということを感じ取って欲しいと願っている。

2016年度学校評価の保護者アンケート調査によると、端午の節句の園での取組を「知っていた」との回答が2015年度より下回っていた。その結果を受け、今回はクラス懇談会で保護者に由来や取組について詳しく伝え、働きかけた。

##### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると『「端午の節句」を通して関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。』の設問に対し、「理解できた」との回答が100%であった。また

『端午の節句』の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」の設問に対し、「本来の意味や願いといったことを伝えて頂き嬉しいです。」「家でも兜を飾ったり柏餅を食べたりしていましたが、意味までは話していませんでした。今回意味を知ることができ、より節句の意味を理解し深めていきたいと思いました。」「お部屋に菖蒲の花が飾ってあると子どもから聞いていたので、詳しく先生から聞かせてもらって良かったです。」「節句の背景を理解し説明して下さるのはありがたいし、その説明を理解できるようになった子どもの成長が嬉しいです。」という記述回答が主なものであり、保護者に節句の由来や園での取組は伝わっていることがわかる。

これからも保護者に様々な取組の意味を理解していただくため、クラス懇談会で保育の意味を丁寧に伝えていくことに努める。

#### イ. 絞り染めに関する制作活動について

##### 【現状の説明】

鯉のぼり作りは、年長児の制作として続けられてきたものであり、年長児が楽しみにしている制作である。うろこの型取り・布を断つ・小石を拾う・小石を布にくるみ輪ゴムをかける・染める・すすいで干す・輪ゴムをほどく・アイロンをかける・縫うの9工程を行う。子どもたちはこの工程を数日かけてひとつひとつの作業に取り組む。取り組む過程では、指先をコントロールすることや根気、集中力が必要である。それぞれの子どものペースで取り組めるようにしている。初めての作業の中ではうまくいかない場面もあるが、何度でもやり直すことができることを知らせ、やり直すことで出来るようになることを経験してきた。約1か月かけて作り上げ、達成感とクラスの一体感を生む取組である。

今回のクラス懇談会では、保護者に“絞り染め”の体験をしていただいた。実際に体験してもらうことで、これまで取り組んできた子どもの気持ちを想像したり、園での取組を理解していただけるのではないかと考えたからである。6月の懇談会では小石を輪ゴムで布にくるみ染める工程を体験してもらい、7月のクラス懇談で輪ゴムをほどき、出来上がりを楽しみにしてもらった。

##### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「絞り染めを行ったことで、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」の設問に対し、「鯉のぼり作りの各工程に込められた学びの目的やねらいを伺って感動しました。」「たくさんの工程を通して着実に積み上げる力、次は何をするのかという見通しを持ち、大きな鯉のぼりを作り上げる自信と充実感を伺ってなるほどと思いました。特に“間違えても直せる。”と子どもに感じさせることはとても大切なことだと思いました。」「伝統行事を大切にしている所にとっても共感ができます。鯉のぼりを作ってから家庭でも縫い物をやりたがるようになりました。」「手指の使い方が2年でこんなにしっかり成長したんだなと感心しました。自分だけでなくお友達と協力してできるようになっていることが素晴らしく感じました。」「絞り染め、なかなか出来ない体験でこうやって作っていくのかと思いました。出来上がりがただ

ただ楽しみです。」「子どもたちがこの石を布に詰めて一生懸命ゴムで止めて魔法の粉で染めた時の表情を思い浮かべながら、私も体験でき嬉しく思いました。」との記述回答があった。

このような感想をいただき、絞り染めの体験を通じて保護者の方が子どもの姿を想像し、手仕事の意味や楽しさを感じたことがわかった。今後もこのような体験を通して、保育の意味を理解してもらえよう検討していきたいと考える。

#### (4) 年少組6月クラス懇談会

##### ア. お弁当と給食について

###### 【現状の説明】

本園の昼食は、給食が週3回（月・火・金）、お弁当が週1回（木）である。お弁当は園児にとって親の愛情がこもった物であり、慣れ親しんでいる家庭の味で安心して食べることができる。そして、親が作ってくれたという嬉しい気持ちが喜んで食べることに繋がっていくと考えている。年少児にとっては、家庭とは異なった環境の中での食事となるため、園児が食事に集中できるよう飾りを控えること、子どもが全部食べられたことが嬉しいと感じられるよう食べきれぬ量にすること等、配慮してもらえよう伝えている。併せて、食べやすいおにぎりにすること等の工夫も伝えている。

給食は関西大学生活協同組合飲食事業部と連携し、作りたてで温かいものを提供している。栄養バランスはもちろんのこと、調理方法を工夫することで園児が様々な食材を口にし、旬の食材を取り入れることで季節感を味わうことを大事にしている。野菜をたくさん摂れるように具たくさんのみそ汁にし、筑前煮やひじきなどの煮物を取り入れ、園児が食べやすいように工夫し提供している。また、配膳形式を取り入れており、教員が園児一人ひとりの食べる量に合わせてお茶碗やお皿に盛りつけている。

クラスの友だちと楽しく食べる雰囲気の中で、食事のマナーの指導にも力を入れている。椅子をテーブルに寄せて座ることや、よく噛んで食べること、お茶碗を持って食べることやその持ち方、お皿やお弁当箱に手を添えること、ご飯粒を残さず食べること、食器を自分で片づけること等を知らせている。そして、作ってくれた人や食べ物に対する感謝の気持ちを持てるように働きかけている。

今回のクラス懇談会においては、子どもの好き嫌いに悩む保護者も少なくないので、家庭では口にしないおかずであっても、友だちと一緒に食べることで食べてみようという気持ちになり、食べてみたら美味しかったという経験をすることで食に広がりを持てるようにしていくという話をした。「お箸が上手に使えない。」「どのように正しい持ち方や使い方を教えればよいか、わからない。」との悩みにも応え、実際に箸の持ち方の指導をやって見せた。また「食前のうた」を保護者と一緒に歌い、太陽や大地にも感謝していただいていることを話した。

### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「『お弁当・給食』を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。」の設問に対し、「理解できた」との回答が100%であった。

また、「『お弁当・給食』の話を聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのお書きください。」の設問に対し、「ただ挨拶するだけでなく、いただくという感謝の気持ちを知らせていく大切さがわかった。」「完食の自信を大切に思い、お弁当を作っている。」「ご飯粒を残さず、きれいに集めて食べることはありがたい。」「給食が始まってから嫌いだったものも少しずつ食べるようになり、先生や友だちの影響はすごいと思う。」「自分で食器を片づけていることに驚いた。」「お箸の教え方が参考になった。」「お箸の使い方はもう少しじっくり向き合う時間を作ろうと思った。」等の記述回答があった。また、「食前のうた」について、「素敵な歌ですね。」「家でも（子どもが）歌っている。」との回答があった。これらの意見や感想から、お弁当・給食に対して理解していただいている手応えを感じた。

今後も、園児が食に楽しみを見出せる働きかけを積極的に行っていくと共に、保護者に対してもクラス懇談会や食育だより等を通じて、食生活の大切さを伝えていくこととする。また、悩みを感じている保護者が方向性を見い出せるようにしていく。

### イ. みつろう粘土に関する制作活動について

#### 【現状の説明】

年少児が6月、初めて手にして遊んでいる粘土がみつろう粘土である。蜜蝋はミツバチが巣を作るために生み出す成分で、みつろう粘土は、天然の抗生物質が含まれているため抗菌作用があり、衛生的に使い、蜜蝋の香りがほのかにする。常温では硬く、始めに手の熱で温めて柔らかくしてから使う。だんだん柔らかくなっていく感覚が心地よく、手がべたつくこともない。初めのうちは、柔らかくなっていく粘土を徐々に薄く大きく広げたり、細く長く伸ばしたりして楽しんでいるが、さらにはそこからまた丸めたりつまみ出したりして形の変化に面白みを見い出すようにしている。何かを作る、作らせることは目標にせず、指先の動きと加減によって形の変化や偶然できた形を楽しんでいる。

今回のクラス懇談会においては、保護者にみつろう粘土についての取組や子どもの様子を伝え、実際に体験していただいた。みつろう粘土をはじめて知る保護者もいるので、話を聞くだけでなく実際に手に取り体験してもらうことで、より理解していただけるのではないかと考えた。硬い粘土が手の温かさで徐々に柔らかくなっていくことや、伸ばしたり丸めたり思い思いに触れていただいた。

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査では、「みつろう粘土を触ってみて、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのお書きください。」の設問に対し、「子どもがみつろう粘土ってあるんだよと話していたので気になっていた。今回触れることができて嬉しかった。」「安心・安全かつ子どもたちの集中力、そして穏やかな心を育むすてきな粘土

ですね。」「初めて触った。温めて柔らかくなるだけでも楽しめた。」「思ったより硬く、でも変な匂いもなくよかった。」「手触りがとてもよかった。」「心地よい集中があり、穏やかな気持ちになった。」「硬い、と思ったけれどだんだん扱いやすい柔らかさになって楽しいだろうな、と思った。」「色もない小さい粘土でけっこう楽しめるのだなと感心した。」等の記述回答があった。実際に体験することで、子どもと同じように心地よさを感じ、みつろう粘土に対する理解を深めてもらうことができた。今後も懇談会の折にこのような体験の機会を設けたい。

#### (5) 年中組7月クラス懇談会

##### 七夕について

###### 【現状の説明】

日本に昔から伝わる七夕の由来を伝え、7月7日の七夕に向けて、クラスで歌を歌ったり、笹飾りや短冊の制作に取り組み、七夕や夜空の星に興味を持てるようにしている。

また、本園では大学構内の竹林から切り出してもらった大きな竹を、年長児がクラス全員で力を合わせて幼稚園まで運び、年少、年中児はその年長児の姿を憧れの気持ちを持って見ている。その翌日、運んだ竹に子どもたちが作った笹飾りと短冊を結び、7月7日は飾りのついた大きな竹の下に全園児が集まり七夕まつりを行っている。集会では子どもたちが歌を歌い、人形劇部の保護者の「たなばた」の人形劇を見、コーラス部の保護者の歌を聴いて過ごしている。

今年度は大雨警報が発令し7月5日・6日・7日が休園となった。そのため、職員会議を開き、笹取りおよび七夕の集会について話し合った。その結果、七夕は7月7日に行うものであるという考えから、今年度は七夕まつりは行わず、後日、織姫と彦星に思いを寄せながら、楽しい時間が過ごせるよう、全園児で「おたのしみ会」という形の集会を持つことにした。

2016年度学校評価の保護者アンケート調査において「ご家庭では星を見たり、笹飾りを楽しむなど七夕を意識して過ごしましたか？」の設問に対して「意識して過ごした」は82.7%と低かった。そのため、今回のクラス懇談会では、七夕の取組について保護者にも意味や由来等、子どもに伝えた内容を伝えることによって理解を深めてもらい、七夕をイベントではなく日本に昔から伝わる大事な季節の行事として取り組んでいることを伝え、家庭でも七夕を意識して過ごしてもらえるよう働きかけた。

###### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「『七夕』を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。」という設問に対し、「理解できた」との回答が100%であった。また、「『七夕』の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」との設問に対し、「イベントではなく、本来の意味やそこに込められた思いを子どもに伝えてもらってよかった」「園のおかげで私より多くのことを子ど

もが知っていて、それを聞くのが楽しい」「笹飾りの由来など私自身が知らなかったことを知る機会となり勉強になった」「日本の伝統行事を大事にしている園の方針ありがたい」という記述回答があった。これらのアンケート結果から、保護者に七夕の意味や由来を伝えていくことで、家庭でも七夕に限らず日本の文化および行事を意識して過ごしてもらえるようにしたいと考える。

#### (6) 年長組7月クラス懇談会

#### 野菜の栽培・季節の実りについて

##### 【現状の説明】

野菜の栽培は、フルーツトマトとさつまいもの栽培をしている。夏野菜の中でトマトは子どもの目の高さで成長がみられ、実が成り熟すまでの変化を楽しみ、五感を使ってその成長を感じることが出来るため取り入れている。小学校での学習との繋がりを考慮し、教員は苗の成長により変化（双葉、本葉）の出るポイントを話の中に入れ、子どもが自ら発見できるように意識し、観察力を育てている。また子どもが水やり当番時に見つけた変化や、気が付いたこと、感じたことを一人ずつ発表することで、自分の言葉で話す事、伝える喜び、イメージをもって話を聞くことを大切にしている。収穫は年長児が行い、皆で分け合ってもらい経験や、年中・年少児に届けて喜ばれる体験も大切にしている。収穫後、トマトの絵本を読むことでその成長の流れとして認識し、今年度は種への興味が生まれた。栽培から、旬の食べ物や種の違いに繋がったことで、興味、不思議、関心が深まったものと思われる。

さつまいもの栽培では、土の中で育っている芋を想像する力、太陽の光と大地の栄養や恵みの雨で育っていくことを、葉や茎の成長を見ながら感じることを大切にしている。

また畑を耕し準備をしていることを伝え、自分たちが生活するのに多くの人が関わっていることを知らせた。元気のない苗の姿を見せ、後に茎や葉がぐっと力強くなった姿から、根が張ることで水分と栄養を吸収できることに気が付くように働きかけている。

季節の実りに関しては、自然環境に恵まれた園内ではジューンベリー・ザクロ・みかん・柿・梅・ブルーベリー等実のなる木があり、木の実が熟していく様子を園生活の中で楽しみ、皆でいただく喜びを大切にしている。スーパー等で目にはしているが、園の実のなる木が移り変わる姿を観察することで、自然の営みの尊さを感じられるよう働きかけている。また様子を伝え合い共有することを積み重ね、思考力の芽生えと興味、関心を持たせたいと考えている。

##### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「『野菜の栽培・季節の実り』を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。」という設問に対し、「理解できた」との回答が100%であった。園内の豊かな自然に共感され、保護者の興味、関心が高い表れであることがわかる。これは2017年度の保護者アンケート調査によると「幼稚園の四季の花々や樹木、実

のなる木などは、子どもたちが四季を感じられるように整備されていますか。」という設問に対して「そう思う」との回答が94.4%という回答であったことから、保護者が園の環境に満足しつつ、今年度では保育の中でどのように子どもたちが自然に触れているのかを伝えられた結果、より保護者の理解が深まったものと思われる。また『『野菜の栽培・季節の実り』』の話を聞き、思ったことや感じたことがあればどんなことでも結構ですのでお書きください。」との設問に対し、「トマトの成長や種の話、当番の話、旬の話を家庭でも話してくれる」との記述回答が多くあった。これはトマトの栽培から興味、関心が生まれ家庭での会話につながったのではと推測する。加えて、「自然の力や時間の流れの中で植物が育っていき、命の大切さや感謝する気持ち、興味を持つ気持ちを育てていると感じた」との声も寄せられており、子どもを通して保護者に保育の中で大切にしていることが伝わったことがわかる。

これらの結果に満足することなく、これからもクラス懇談会を通して保護者にわかりやすく保育内容を伝えることで、園と保護者が同じ方向を向き子どものことを考えていけるように努める。

#### (7) 年少組9月クラス懇談会

##### お月見について

##### 【現状の説明】

十五夜は中秋の名月とも呼ばれ、米や野菜等の農作物が収穫できたことに感謝し、豊作を願いすすきやお団子等のお供え物をしてお月見をしてきたという由来を、子どもたちにわかりやすく伝えた。具体的には保育室にすすきや秋の花を飾り、月の満ち欠けについて知ることが出来るように話をし、子どもが月を身近に感じ興味を持てるようにしている。また、月に関する歌や絵本、手遊びを楽しんでいる。十五夜に近い日に年長児がお月見団子を作り、年少・年中児へ届けている。年少・年中児は、年長児がお盆に載せてお団子を運んでいる姿を見ることで、自然と年長児に憧れる気持ちになる。年少・年中児はお団子をいただいた後、粘土で団子を作りお部屋に飾りお月見に興味を持つことができるようにしている。

今回のクラス懇談会では、保護者にお月見の由来や子どもへの働きかけについて詳しく伝えた。

##### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると、『『お月見』を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。』という設問に対して、「理解できた」という回答が100%であった。また、『『お月見』の話を聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。』という設問に対して、「お月見について子どもと話したことがなかったので懇談での話を聞き良い機会だと思った。」「家ではすることがなくなった行事だったので、園でしていただけて嬉しい。」「子どもと一緒に月を見てみようと思った。」「手



遊びを通して月の様子がわかり、家で月を見て色々な感想を伝えてくれるようになった。」

「家でもお月様をみて子どもと一緒に歌を歌ってみようと思った。」等の記述回答があり、保護者にお月見の由来や意図が伝わっていることがわかる。

これらの結果に満足することなく、今後も由来を伝えると共に、日本の伝統行事に対する取組を大切に進めていきたい。

#### (8) 年長組9月クラス懇談会

##### おやつ作りについて

###### 【現状の説明】

園のおやつ作りとして、クッキー（季節によりゴマ入り・なんきん入り）とお月見団子を年長児が作っている。年少児や年中児でもやり方によっては取り組ませることはできるが、あえてさせていない。年少・年中児には、年長児にしてもらった嬉しさを感じ、年長児への憧れの気持ちと自分の成長を楽しみに待つ喜びが育まれることを大切に考えている。

クッキー作りでは、材料を知り、順番に混ぜ生地がなじんでいく様子や柔らかくなっていく様子を感じながら生地作りをし、思い思いの形を手で作り、焼き上がりを楽しみに待つ。クッキーを大切に食べている様子や形を見せ合い嬉しそうに食べている姿から、豊かな心が育まれると考えている。

十五夜ではお月見団子を作ることにより、昔の人が月の満ち欠けで農作物の種まきや収穫の時期を知った知恵や、実りの恵みをもたらす月に感謝を込めてお供え物をしたこと等、知恵や文化を伝えていくことを大切にしている。もち米・米粉等の材料を知り、生地を丸め団子を作る力加減や手のひらを使い平たくすることを経験する。年少・年中児の各保育室で、きな粉をかけ、楊枝を添え、落とさないようにテーブルに運び、適量のお茶をコップに注ぐ等、年少・年中児のことを考え行動できるように働きかけている。その様子を見ている年少・年中児のそれぞれの中で育まれるものも大切に考えている。

季節感を大切にした素朴なおやつ作りや友だちと一緒にいただくことを通して、子どもを優しく包むような温かさが心の深くに育まれることを願っている。

###### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「『おやつ作り』を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか？」という設問に対して「理解できた」との回答が95.7%であった。「まあまあ理解できた」が4.3%であった理由に、「下の子が席から離れてしまい話が聞けませんでした」という記述があった。『おやつ作り』の話を聞き、思ったことや感じたことがあればどんなことでも結構ですのでお書きください。」との設問に対し「何かを作る時、やりたいと言って手伝うことが多くなりました。自分で作って食べることに興味を持つようになってきたようです。」との記述回答が複数見られた。「季節によっておやつを作り食べることが子どもにとって大切な思い出になるように大切にしながら過ごしていけたらなと思います。」との回答からは家庭で食の関心のみならず心の豊かさを大切にしている

姿が伺える。おやつ作りを通して親子の会話が生まれ、心の豊かさや、ふれ合いを育てられるよう、これからも家庭と園とで同じ方向を向いていけるよう働きかけたい。

#### (9) 年中組 9月クラス懇談会

##### わらべうた遊びについて

###### 【現状の説明】

昔から伝承されてきたわらべうた遊びを通し、歌や友だちの動きに合わせて体を動かすことで、集団の中の一人であることを意識し、協調性を育むことにつなげたいと考えている。年齢や季節に合わせたものを取り入れ、遊びを繰り返し積み重ねることで、子ども同士でも楽しめるようになり、自由遊びの中で自然と集まり、遊びを展開する姿がある。

今回のクラス懇談会では、わらべうた遊びについて話し、子どもたちが感じているわらべうた遊びの楽しさを知っていただきたいという考えから、保護者にも体を動かしわらべうた遊びを行っていただいた。

###### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると、『わらべうた遊び』を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。』の設問に対し、「理解できた」との回答は97.9%であった。また、『わらべうた遊び』の話の聞いたり、一緒に行ったことで思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。』の設問に対し、「実際にやってみて楽しかったです。」「わらべうたで季節を感じられるところが素敵だなあと思いました。」「日本しかない曲や動きを大切にしたい。」「このように遊んで協調性が生まれるのだと知り、勉強になりました。」との記述回答があった。このことから、実際にわらべうた遊びを体験してもらうことで、より理解を深めることができたことがわかった。今後も保護者に「わらべうた遊び」を楽しんでもらえる取組を引き続き行う。

#### (10) 年少組・年中組・年長組 10月クラス懇談会

##### 運動月間について

###### 【現状の説明】

本園では戸外遊びに適した10月を運動月間とし、毎日「運動会ごっこ」と称して体育遊びや集団遊びを行っている。園児は「運動会ごっこ」を通して体を動かす心地よさを体感すると共に、友だちと一緒に頑張り、ルールを守って遊ぶ楽しさを味わえるようにしている。年少組では、初めて広い園庭で体操やかけっこをして、戸外で体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるようにしている。年中組では、運動遊びや集団遊びを楽しむ中で友だちに目を向け仲間意識を育ていけるようにしている。年長組では、個々の力を出す種目に加え、友だちと協力し力を合わせる種目にも取り組む。二人三脚では友だちと息を合わせないといけないこと、リレーではチームとして頑張ること、綱引きではクラス全員で大きな一つの力を作り出すことを体験させた。その結果、子どもたちの姿からはこれまで育てきた

仲間意識をさらに深めることができたと感じる。また、年長児の仕事として、年少児や年中児の種目の手伝いを責任を持ってするようにしている。みんなの役に立つという経験をする中で、自分の出る種目以外にも目を向けるようになっている。

10月中旬頃に年少・年中組は1日、年長組は2日間の参観日(運動会)を設け、保護者に園児の姿や成長を感じてもらえるようにしている。園児と保護者が一緒に楽しめる種目を加えている。参観日のために練習を重ね発表の場とするのではなく、あくまでも普段の保育(運動月間)の一日を参観してもらうことを目的としている。教員は普段の園児の遊びや興味のあるところに焦点を当てたプログラムを考え、園生活からかけ離れたものにならないように考慮している。また、大人も子どもも体を動かし楽しいひと時を過ごせるように、参観日前のクラス懇談会や学年だよりで、プログラムについての教員の考えや、運動月間での取組で大事に考えていることを保護者に伝え、参観日に子どもの成長を感じてもらえるようにしている。

参観日(運動会)では、保護者が手作りしたペンダントを園児にプレゼントし、園児と保護者が楽しかった運動会を分かち合えるひと時を持っている。

#### 【点検・評価と今後の取組】

暑さの和らぐ9月下旬頃から体育的な遊びを行い、友だちと一緒に楽しく体を動かして遊ぶ経験を積み重ねた。年少組では、かけっこで一生懸命走ることを楽しむだけでなく、走っている友だちを応援したり、転んだ友だちを心配したり、一緒に玉入れをすることで友だちと楽しい時間を共有した。これらはクラス集団において仲間意識につながるものとする。年中組では、運動月間でクラスの皆と一緒に一つのことに取り組む楽しさを経験して、普段の遊びでも、へびじゃんけんや集団遊び等、ルールのある遊びを友だちと楽しんでいる姿が見られた。年長組では、年長組の成長段階に即した種目を取り入れ、個々の力を伸ばし、ルールを守って友だちと協力して楽しむことで充実感を味わい、自信に繋がるように働きかけた。その結果、運動月間にとどまらずその後も、クラスの枠を超えて仲間を誘い、自主的にリレーを楽しむ姿が見られた。

参観日に関しては、保護者アンケート調査によると「プログラムは楽しめる内容でしたか。」の設問に対し、「楽しめた」の回答が年少組は96.5%、年中組は89.8%、年長組は96.1%であった。また、「親子プログラムではお子さんと楽しめましたか。」の設問に対し、「楽しめた」の回答が、年少組が93%、年中組が87.8%、年長組が96.1%であった。保護者アンケート調査の「楽しめたか」という設問が、個人によって楽しいと感じることが違うので文言を熟考すべきだったと考える。それに対し、「運動会ではお子さんの成長を感じられましたか。」の設問に対して、「感じられた」の回答が年少組は91.2%、年中組は91.8%、年長組では100%であった。それは、年長組保護者から「とってもいい顔で運動会を楽しんでいる我が子を見て、自信を持ってやっていることが伝わってきました。初めての運動会の記憶が蘇り心動かされました。」「運動会当日だけに焦点を当てるのではなく“子どもにとって”を第一に考えてくださっている関大幼稚園の運動会」「初めて二人三脚ができた喜んで報

告していました。」「小さい子に冠をかぶせる係りになったことを楽しみにしていました。」  
「親子でわらべうた遊びができたことが良かったです。」と連絡帳に寄せられた感想からも伺える。

今後も保護者の理解のもと、子どもが成長できる運動月間の取組となるように努める。

#### (11) 年中組11月クラス懇談会

##### ア. 芋ほり・焼き芋について

###### 【現状の説明】

本園では園児が普段から畑の様子を見て苗の生長を感じながら、収穫の時を楽しみに待てるよう園内に畑を作っている。年長児は自分の手で畑にさつまいもの苗を植えて世話をし、苗が根付く様子や葉が茂っていく様子を観察しながら、収穫の日を楽しみにできるようにしている。芋ほりにおいては、年長児がつるを引っ張り、素手やスコップを使って収穫する様子を年少・年中児に見せることで年長児への憧れの気持ちや楽しみに待つ気持ちが持てるようにしている。

後日、園庭で行う焼き芋については、年長児が全園児の分の芋を洗い、アルミホイルで包む下準備をし、年少・年中児には年長児の姿を見せることにより、自分が年長組になった時に意欲的に取り組む姿につながるようにしている。全園児が焚き火を囲み、立ちのぼる煙を見上げ、煙の匂いをかぎながら焼き芋が出来上がるのを楽しみに待つ。そして、みんなで出来立ての焼き芋を味わいながら、匂いや色、温かさに気づけるようにしている。2016年度の保護者アンケート調査によると「年長児が苗を植え、育てたお芋を収穫したことをご存知でしたか」という設問に対して「知っていた」との回答が77.9%と低かったため、今回のクラス懇談会では年長児の取組を保護者に伝え、子どもの様子や気持ちを想像してもらえるように伝えた。

###### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「『芋ほり・焼き芋』を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか」という設問に対して「理解できた」との回答が98%という結果が得られた。また、「『芋ほり・焼き芋』の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのお書きください。」という設問に対して「苗を植え育てて、成長を感じながら収穫していただけることは身近にはなかなかないので貴重な体験だと思う。」「年長児の姿を見て憧れの気持ちが大きくなり、次は自分たちの番だと楽しみにつながるので良い経験だと思う。」「たき火の機会がないので良い経験をさせてもらっていることに感謝している。」という記述回答が主であり、保護者が芋掘り・焼き芋の取組について本園が大切にしていることを理解していただけたことがわかる。今後も保護者に理解していただけるよう、イメージしやすいように伝えていくことに努める。

## イ. 自由遊びについて

### 【現状の説明】

本園では自由遊びの時間を大切に考え、子どもが心ゆくまで夢中になって遊べる時間を十分確保している。子どもが夢中になって遊び、想像をふくらませ、工夫しながら友だちと一緒に遊ぶという経験は、人と関わる力や協調性、社会性を身につけ、生きる力につながる。教員は子どもが興味を持って遊べるように関わり、遊びの楽しさやルールを伝え、子ども同士が関わって遊ぶことで、人との関わりを学んでいけるよう年齢や発達段階に応じて働きかけている。子どもが興味関心を示し、意欲的に遊びに取り組めるように、子どもの動線や遊びの展開を想像し遊具の種類や配置を考えている。遊具は想像力や創造力を働かせ、イメージ豊かに遊べるように、自然木や積み木、布等、素朴なものにしている。教員は遊びの状況を見守りながら、一人ひとりの子どもの個性を理解し、遊びを通して子ども同士の関係や子どもがどんな遊びに興味や関心を持ち、遊びが楽しく展開されているのかを把握している。また、友だちと一緒に遊ぶ経験を重ねて、子ども同士のつながりやクラスの仲間意識を育てていきたいと考えている。年中組保護者には5～6人ずつ自由遊びを参観する機会を設けている。参観前には自由遊びの大切さを感じてもらえるようクラス懇談会で伝え、その後参観で実際に子どもが遊んでいる様子を見てもらうことで、理解を深めていただきたいと考えている。

### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「『自由遊び』を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか」という設問に対し、「理解できた」との回答は96%であった。また、「『自由遊び』の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」という設問に対し、「自由の中にも先生の目があり、友だちとの関わりを大切に見守り成長させていただいていることをありがたく思う。」「子ども同士が関わる中で大切なことを学んでいく良い機会なのだと思った。」「家でも見立てて遊ぶようになったり、どこでもごっこ遊びを楽しんでいる。」「工夫して遊べるように大人が環境を整えてあげることや関わってあげることの大切さがわかった。」「自分で考えて遊ぶことができるといいと思う。」等の記述回答があった。これらの回答から、自由遊びの大切さや子どもにとって必要な時間であることを感じてもらえたことがわかる。また、園だけでなく家庭でも子どもが想像力や創造力を働かせ、考え工夫して遊べるように保護者自身の関わりについても考えてもらえる機会になったことが伺える。

自由遊びは一人ひとりの子どもを理解した上で、教員の適切な働きかけが重要であるため、全教員で遊びの見方や子ども観を点検することと、物的環境を毎年熟考することに努める。

(12) 年少組 11 月クラス懇談会

### ぬらし絵に関する制作活動について

#### 【現状の説明】

本園では、子どもたちが色を楽しむ取組としてぬらし絵を行っている。ぬらし絵は、ぬれた紙の上に絵の具で描いて色の世界を楽しむもので、保育室で自由に遊んでいる時に順番に行っている。

ぬらし絵では、ぬれている紙の上に絵の具で描くので、絵の具がにじんで広がり思わぬ形が生まれる。子どもたちがその時によって生まれる形が違うことを感じ、驚き、楽しむ体験を大切にしている。絵の具が広がり形にとらわれないため、絵に苦手意識を持っている子どももその気持ちから解放され、楽しむことが出来る。また、二色、三色の混色を楽しむようになると、色と色が出会い、新しい色が生まれることに子どもたちは気づき、積み重ねていくうちに色を自分で作り出すようになる。教員は色と出会った時の子どもの驚きや喜びに共感し、共に色の世界を楽しむようにしている。また、ぬらし絵では筆を使うため、その扱い方や持ち方を丁寧に伝えていくようにしている。

2013 年度より、本園でぬらし絵を取り入れている意図や子どもがどのようにぬらし絵に取り組んでいるのかを知っていただくために、年少組のクラス懇談会において実際にぬらし絵を体験していただいている。

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「『ぬらし絵』の話聞き、思ったこと感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」という設問に対して、「絵の苦手な子ども臆することなく楽しめるのがいいなと感じた。」「絵の上手、下手ではなく色彩そのものを感じられると思った。」「子どもから聞いていてどんなものかと想像していたが知ることができてよかった。」等という記述回答があった。また、「『ぬらし絵』を行ってみて、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」という設問では、「子どもの気持ちに近寄ることができたような気がした。」「絵は苦手だが、色そのものに集中できて楽しむことができた。」「色のにじみ方とか、形とかが思うようにならず、自然にできる色や形が面白いと思った。」「無心で楽しめ、自由なところがいいなと思った。」という記述回答があった。どちらの設問に対しても、実際に体験をすることで、ぬらし絵に対して理解が深まっているだけではなく、ぬらし絵をする子どもの気持ちを感じ、その気持ちに近づける機会となったことが伺える。「『ぬらし絵』を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。」の設問に対して、「理解できた」の回答が 94.7%であったが、100%でなかったのは小さな子を連れてきている保護者はじっくりとぬらし絵の体験をし、話をしっかり聞くことが困難であったのではないかと推察する。今後は、事前にぬらし絵の体験をすることを周知する等小さな子がいる保護者もゆっくり体験できるような工夫を考えていきたい。

(13) 年長組 11 月クラス懇談会

#### ア.「休日参観」について

##### 【現状の説明】

11 月 23 日の休日参観に向けて、年長組では子どもたち自身でやりたいことを考え、それを形にしていく取組を行った。「幼稚園でしていること、できるようになったことをお家の人に見てもらおう。」と子どもたちに伝えると、これまでの活動や遊びの経験から様々な声が上がリ、友だちの意見を聞くうちにそれぞれ自分のやりたいことが決まっていっていった。(あやとり・折り紙・お手玉・積み木を組み立てる・いちわのからす(わらべ歌)・アルプス一万尺等) 同じ出し物をする子ども同士が集まり、実際にどうするのか相談をしながら当日に向けてすすめていった。どうすれば見てもらう人に分かりやすいか、何という言葉で話すといいのかということを考え、みんなで声を合わせることや順番に話すことを子ども同士で相談させた。見ている側の視点を意識して考えることや、友だちと声をそろえることを課題として取り組ませることは、年長児にとって大切な経験と考えている。また、思っていることを形にしていく過程を友だちと一緒にやり遂げることは、相手の意見に耳を傾け協力することが必要となるので、子ども同士の繋がりが強くなると考える。子どもたちが自主的に当日に向けて稽古をするうちに、これまでできなかったことができるようになっていく姿もある。当日は多少緊張しながらも、友だちと共に保護者の前でしっかり発表ができた。

4 月からクラスでは、みんなの前でひとりずつ話をする(できるようになったことや嬉しかったことなど) 機会を持ってきた。その経験も子どもたちの自信となっている。また自分だけでなく友だちの発表にも興味を持ち、応援する姿から、子ども同士がしっかりつながり育っていることを感じた休日参観となった。

##### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「『休日参観・お店やさんごっこ』を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。」の設問に対し「理解できた。」の回答が 100% であった。また「『休日参観・お店やさんごっこ』の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですでお書きください。」の設問に対し、「日頃の成長を発表できる場になっていることがとても素敵だなと思いました。」「子どもたちが今できることをそれぞれに発表できていてどんな難しいことをみせてもらうよりも尊いものだなと感じました。」「我が子だけでなくどの子を見ても愛おしく素敵な空間、時間でした。子どもたちの個性を大事にしてくださって本当にありがとうございます。」「子ども同士で話し合い誰かが主導になるのではなく譲り合いながら決められるようになったことに成長を感じました。」「休日参観での発表は家でも何度も話していて親子共々楽しみにしていました。」「休日参観で子どもたちの発表する姿が自分達の言葉で友だちと合わせて行動できている所に成長を感じました。」「子どもたち自身でつくりあげた会、とてもあたたかくやさしい気持ち伝わってきました。クラスの仲間意識の芽生えも感じられ成長を感じることができま

した。」という記述回答があった。このような保護者の感想から、参観が子どもの成長を実感していただける場になっていることが感じられる。次年度も子どもたちが課題に取り組みながら友だちと共に成長していく姿を見ていただける機会となるよう休日参観に取り組んでいきたい。

## イ.「お店やさん」の取組について

### 【現状の説明】

「クラスでお店やさんをしようか。」という担任の提案に、自分たちのお店やさんができることを喜ぶ子どもの姿があった。年少・年中児の時に年長児に招待された時のことをよく覚えていて、イメージを膨らませていった。また、自分の暮らしている生活の中からお店を考え出す子どももいて、それぞれ子ども自身が主体的にアイデアを出していった。このように取り組む過程において、園児がそれぞれ自分のやりたいお店を考え、イメージを豊かにすることを大切にしている。子ども同士でお店のイメージを共有し、お店をするには何が必要か（どんな材料が要るのか、何を作るのか）を考え、協力して作っていく。また、作り方がわからない子には友だち同士教えあったり、準備に手が必要な場合には手伝いを頼んだりクラス全体で協力し合っ行って行くことを大切にしたいと考えている。“どんなお店をやりたいか”という自分の意見をはっきり持っている、イメージが広がり、準備も根気強く取り組める姿があるので、それぞれの子どものやりたいお店を見つけられるよう助言することが必要となる。

年少・年中児を招待する時には、店番と誘いに行く役割を話し合っ交代で行うことや、小さい子たちが戸惑わず楽しんで関わられるように働きかけている。そして後日保護者の来店を楽しめる姿につなげている。

今回のクラス懇談会では「お店やさん」の取組を子どもの姿を通して伝えた。また参観の際には子どもの世界を大事にさせていただきたいことや品物の出来栄にこだわらないでいただきたいことをお願いすることで、子どもとの会話を楽しみながらごっこ遊びを共有し、子どもへの理解を深めてもらえるようにした。

### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「『休日参観・お店やさんごっこ』の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですとお書きください。」の設問に対し、「子どもの“やりたい”という気持ちからそれを実行する頑張りや工夫を大切にしている年長ならではの行事だと感じました。」「昨日子どもからお店やさんの話を聞きました。家で色々な案を楽しそうに話す姿が嬉しく思いました。」「“大人が子どもの世界に入る”という言葉が心に響きました。子どもたちが自分たちで試行錯誤して一生懸命に作り上げたお店やさんが楽しみです。」「先生が決めるのではなく子どもたちで意見を言いまとめるということは大切ですね。家でも先々に言わず子どものペースを待ちたいです。」「子どもたちのアイデアの豊富さに非常に驚きました。子どもなりに色々なことを見聞きして考えてい



るんだなと実感しました。」「みんなで協力しあってアイデアを出す力がついてきていると感じました。と同時に周りを見られるようになってきたのを感じました。子どもたちに豊かな心を育ててもらっていると感じました。」という記述回答があった。保護者に事前に取組のねらいを知ってもらうことにより、保護者自身が家での子どもの姿と照らし合わせて様々な気付きを持ってもらえることが感じられた。

これらの結果に満足することなく今後も、子どもたちの成長の姿が、「おみせやさんごっこ」を通して保護者に伝わる取組になるよう努めていく。

#### (14) 年少組2月クラス懇談会

##### 人形劇について

###### 【現状の説明】

人形劇は、絵本と同じように、子どもたちがお話の世界を楽しみ感じるものとして大切にしている。お話は昔話や古くから語り伝えられてきたもの、季節に合ったもの、子どもの成長段階に見合ったものを選んでいく。人形は羊毛や優しい色の布で作られ、目鼻は描いていない。お話に耳を傾け人形の気持ちを感じ、その表情を子どもが心の中で描くことで、想像の世界が広がると考えるからである。舞台となるテーブルは、布や木片、木の実等の自然のもので背景を作っている。教員は、子どもたちが想像力を膨らませることができるよう、自分の感情を押し付けず静かにゆっくりと語るようにしている。人形劇は月に2～3回同じものを見るようにしている。同じお話を繰り返し見ることによってより深く楽しみ、お話の世界に入りこめるようになっていくと考えている。

年少組では保育室で、年中・年長組になると「おはなしのへや」で学年ごとに人形劇を見る。また、ホールでの集会では、全学年で大きな舞台の人形劇を見ることもある。進級式では、子どもの成長や新しいことに向かっていく自立の意味が込められている人形劇を、保護者にも一緒に見ていただいている。

今回のクラス懇談会においては、人形劇についての考えや、人形劇を見る子どもの様子を伝え、11月に行った『おおきなかぶ』の人形劇を見ていただいた。

###### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると『「人形劇」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。』という設問に対し、「理解できた」との回答が100%であった。

また、『「人形劇」の話を聞いたり、見たりして思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。』という設問には、「静かにお話に入り込めて、向かい合える時間が素敵だなと感じた。」「人形劇が始まる時の歌がとても素敵で、そこから引き込まれていく感じがする。」「人形がやわらかく、子どもにあたたかいと思った。」「ゆったりとした落ち着いた気持ちで見ることが出来る人形劇で、小さい頃にこのような体験ができるのは、とても幸せなことだと感じた。」「感情を押し付けない語り口で、人形の動作も脚色を控えている印象を受けた。家でも子どもの感情を大事にしながら、本など読んで

いきたい。」「感情を押しつけずに話すというのが、家でのごし方の参考になった。」「人形の顔にあえて目や口を付けず、子どもの想像に任せるところが素敵だと思った。」「同じ人形劇を繰り返し見ていることは知らず、とっても良い機会を持たせてもらっていてありがたく感じた。」「お話を楽しみ、それが遊びの中、生活の中にも生きていて、またそれを友だちとも共有できている姿が素敵だなと思った。」「家で読む絵本は意識して取り入れないと昔話やグリム童話は少なくなりがちなので、幼稚園で話していただけるととてもありがたい。」等の記述回答があり、人形劇を見て感じたことだけでなく、家庭での過ごし方に目を向けられていた。テーブル人形劇は、入園式の日にも『ちょうちょのきょうだい』を見ていただいているが、その時は初めての園生活に保護者も不安や心配な気持ちもあり、人形劇をじっくり楽しむ余裕はなかったようであったが、園生活に十分慣れたこの時期、ゆったりと落ち着いた雰囲気の中、実際に人形劇を見ていただくことで、保護者がお話の世界を楽しんでいる様子が伺え、より理解が深まったと考える。

#### (15) 年中組2月クラス懇談会

##### ア. 手伝いについて

###### 【現状の説明】

本園では、子どもの成長に応じて、子どもができる手伝いを行っている。年中児は、グループで絵本の返却（絵本の部屋までかごを運ぶ）をすることや、机にテーブルクロスを広げる手伝いをしている。11月末からはグループで順番に当番を決め、家に持ち帰る手紙類や制作に使う折り紙をグループの友だちに配っている。この手伝いを通して、グループの人数を把握し簡単な数が理解できるようにしている。また、年長児は、これらに加えて給食の配膳や小鳥・カモ・うさぎのお世話、トマトやさつまいもの水やり等、当番で取り組むことが増え、自分の役割を理解して行動できるようにしている。子どもはどの手伝いも喜んで、意欲的に取り組んでいる。手伝いを通して、大人に頼るのではなく、自分から積極的に取り組める姿につながりたいと考える。

今回のクラス懇談会では、園で取り組んでいる手伝いの内容を具体的に伝え、子どもが自分だけではなく友だちのために役に立てることが嬉しいと感じていることや、責任を持って繰り返し行うことが、子どもの自信につながると考えていることを伝えた。また、大人の都合で用事を押し付けたり、子どもがやりたがることをなんでもやらせるのではなく、子どもができる手伝いを考えてほしいことや、手伝ってもらった時には「ありがとう。」「助かったよ。」という一言が次への意欲につながることを伝え、家庭での手伝いについても考えていただけるように働きかけた。

###### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると『「手伝い」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。』という設問に対し、「理解できた」との回答が100%であった。また、『「手伝い」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですので

お書きください。』との設問に対し、「家でも子どもにあった手伝いを考えていきたいと思いました。」「本人ができることを親が選ぶことが必要だと思いました。」「年齢に見合った手伝いをさせることが大切だと感じました。」「やりたいと言うので料理を手伝ってもらっていましたが、させすぎていたと反省しています。」「当たり前だと思わずにありがとうの気持ちを持ち続けて行くことを大切にしたいと思います。」「園での手伝いの話をよく聞かせてくれます。誰かのために何かができることに喜びを感じているようでとても楽しそうです。」等の記述回答があった。保護者に園での具体的な手伝いの内容や取り組む子どもの姿を伝えることによって、家庭での手伝いについても考えるきっかけになったことが伺える。

## イ. 豆まきについて

### 【現状の説明】

本園では昔から伝承されてきた日本の行事を大切にしている。その一つとして節分の日には豆まきを行っている。

節分は立春の前日を指しており、季節の変わり目は邪気が起こりやすいと考えられていたことから、一年の無病息災を願い邪気払いとして豆まきを行っている。このことを、園児の発達段階に合わせて伝えるようにしている。また、豆まきは自分の中にある邪気（病気や悪意）を払うためでもあることから、自分の弱い心と向き合えるように話をしている。本園に現れる鬼は邪気の象徴ではなく、園児が自分の内から出した邪気を持って行ってくれるものとして登場させている。自分と向き合いながら豆まきができ、鬼との出会いを子どもたちの心を強くする経験にしたいと考えている。

豆まきの当日は各保育室に鬼が姿を見せた後、各学年ごとに園庭で豆まきを行う。その後保育室で一年の健康を願い、歳の数に一つ加えた福豆をみんなでいただいている。

節分の話や豆まきの経験をした後には、各学年の発達段階に見合った方法で鬼のお面を制作している。お面の鬼は、それぞれに自分が感じた鬼を表現して作っている。

今回のクラス懇談会では節分の取り組みを詳しく話し、保護者に理解していただけるようにした。

### 【点検・評価と今後の取組】

鬼が金棒を突きながら保育室の前にやって来る緊迫感は、園児に良い意味で緊張感を与えられていることが園児の姿から感じられた。豆を投げるのではなく、まこうとしている子どもの姿から、鬼を退治するためではなく、自分の中から邪気を出すという気持ちで豆まきをしていることが感じられた。邪気を払うという豆まきの意味を園児に伝える方法として鬼を登場させているが、鬼が現れなくても本来の豆まきの意味を子どもに理解させる方法について今後も話し合い、考え続けていきたい。

保護者アンケート調査によると『「豆まき」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。』の設問に対し、「理解できた」との回答が98%であった。また、『「豆まき」の話を聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。』の設問に対し、「豆まきをして“悪いものを追い出す”という考え、色々知

らなかったことを教えていただき、子どもと一緒に一つ一つの行事を大切に過ごしていただけのこと、ありがたく思います。」「イベント的になり、本来の意味を忘れかけておりましたのでとても良いお話でした。」「家でも“弱い心”という言葉を使っていました。関大幼稚園に通うようになって節分への思いが親子ともに変わりました。」等と記述回答があった。このことから、クラス懇談会を通して、保護者に豆まきの本来の意味を理解していただけたことがわかる。

今後も、節分の意味を子どもたちに伝え、日本の伝統行事として大事に取り組んでいきたい。

#### (16) 年長組 2月クラス懇談会

#### マフラー作りに関する制作活動について

##### 【現状の説明】

年長組の制作の一つとしてマフラー作りがある。これは子どもが自分の指に毛糸をかけ、編んでいくものである。自分の身につける物を作り上げる喜びを感じさせることを大事にしている。マフラーの長さやぼんぼりの毛糸を巻く厚さを自分で考えて作っていくことで、見通しを持つ力を育てている。また、五本の指を意識して動かすことで、鉛筆を持つことや、鉄棒をにぎる等の成長へ繋がっていく。間違えてもほどいてやり直せる安心感から、気持ちの切り替えや挑戦する力が育まれるものと考えられる。

マフラー作りの前に、毛糸のあやとり（紐はくさり編みをしたもの）を遊びの中に取り入れている。保育室で教員が毛糸でくさり編みをし、あやとりの紐がくさり編みでできていることに気づかせ、子どもが毛糸で作りに興味を持ったところで、マフラー作りをもちかけた。落ち着いて子ども一人ひとりのペースで取り組み、進められるようにした。編み始めは指の動きがぎこちないが、子ども同士で教え合い編み進めるうちに、自分の経験から相手を思いやる気持ちが育っていく。子どものペースを尊重することで、集中して楽しみながら編み進める姿があった。編み進めながら友だちと会話を楽しむ姿は豊かなひと時である。マフラー作りの経験から、二本、三本と毛糸を重ねてくさり編みをして冠や指輪を作ったりと豊かな発想が見られる。

今回のクラス懇談会では、マフラー作りについての考えや取り組む子どもの姿を伝えた後、保護者にもくさり編みを体験していただいた。

##### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると『「マフラー作り」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか?』という設問に対して「理解できた」との回答が 96.7%であった。「まあまあ理解できた」との回答が 3.3%であり、その理由は「下の子に気を取られ話が聞こえませんでした」であった。また、『「マフラー作り」の話聞き、思ったことや感じたことがあればどんなことでも結構ですのでお書きください。』との設問に対し、「自分の指で編むことで考える力、集中する力がしっかりと育まれるんだと思いました。」「家

で編んでいる姿を見て、とても一生懸命で真剣なまなざしを見てひとつの事を最後までやり抜こうとする心の成長を感じました。」と子どもの成長を感じた記述回答が多数あった。「何度も繰り返し編んで長いマフラーをつくったのはとても頑張ったんだと実感しました。」「家で一緒にマフラーやあやとりを作り、親子で物づくりをゆったりする時間がもてました。」との記述回答から園で大切に育もうとしていることを保護者は子どもの姿から感じ、親子の触れ合いや会話に繋がっている事がわかった。「編み物なんてできるかな、興味が持てるかと思ったが、園はこうしてタイミングをしっかりと見計らい子どもたちを導いてくださっている。」「子どものやりたい、作りたい、出来るという思いを育て子どもの気持ちに寄り添い必要な手助けをしてくださっている。」との記述回答ではマフラー作りで一人ひとりを大事に取り組んでいることを理解していただけたことがわかった。

『指編みを行ったことで思ったことや感じたことがあればどんなことでも結構ですのでお書きください。』との設問では、「細かい作業を子どもたちは覚えて出来るのがすごいなと思いました。」との記述回答が複数あり、体験することで指編みの難しさを知り、子どもの成長を感じていただけたと推察する。「最初あまり理解できず、でもだんだんと出来るようになる楽しさ、完成した時の喜びが短い毛糸からも感じました。子どもたちが楽しめたのがよくわかりました。」「目で見えて出来上がっていく様子に心が穏やかになりました。自分の内側に深く向き合えるようなひと時でした。」との記述回答から、実際に体験することで子どもの姿を想像し、手仕事の楽しみを感じていただけたと思う。

## (17) 子育て支援

### ア 希望（のぞみ）クラスについて

#### 【現状の説明】

希望クラスは、保護者の都合に合わせて子どもを預かるという「預かり保育」とは異なり、あくまでも子どもにとって無理のない生活リズムを最優先に考え、年間を通して同じ構成メンバーによる保育を積み重ねる特色のあるクラスである。“帰宅後安心して遊ばせる環境がない” “住んでいる地区に同年齢の友だちが少ない” “少しでも長い時間幼稚園で過ごすことが子どものためになる” “異年齢の子どもと交流をさせたい” 等の保護者のニーズに応えたものである。また、保護者には降園後は家庭でゆっくりと過ごしていただくようお願いしている。

希望クラスは「月・木クラス」「火・金クラス」の2クラスあり、開始時期は年長児は4月から、年中児は5月から、年少児は7月から始め、保育時間は14時から17時までとしている。

担当教員は、14時までの保育を終えた子どもたちを迎え、少人数で家庭的な雰囲気の中、兄弟のような関係を築けるよう心掛けている。入室してきた子どもたちは、手洗い・うがいを済ませた後、14時までのクラスとは違った異年齢の友だちと遊び、おやつを食べ、保護者の迎えを待つ。希望クラスの保育室にはじゅうたんを敷きリラックスできるような環

境を整え、遊具は少人数で落ち着いて遊べるものを取り入れている。担当教員は希望クラスでの子どもの様子を記録し、担任に知らせることや、担任と話し合うことでその子どもへの理解を深め、共通認識をもって関わることを大切にしている。

#### 【点検・評価と今後の取組】

希望クラスは同じ構成メンバーで過ごすので、異年齢の子ども同士のつながりを深めることができている。担当教員が希望クラスの子どもの様子を記録したものを担任が見て知ること、その子を共通認識し、同じ思いで関わるができている。今後も、担当教員と担任が共通認識と理解を持って保育を進めていくように努めた。

### イ 預かり保育（なないろ）について

#### 【現状の説明】

2014年度より希望クラスに平行し「預かり保育（なないろ）」を実施している。核家族化で“一時的に子どもを預けることが困難である”、共働きの家庭が増え“仕事をしている間安心して子どもを預けられる”等、保護者のニーズに応えたいと考えはじめた。しかし、保護者には子どもの様子を見て、無理のない利用をお願いしている。

実施日は、月・火・水・木・金の週5回、保育終了後から16時または17時までである。ただし年少児については園生活に慣れ始めた5月から利用して頂くようにしている。2016年度より働く保護者からの要望があり、夏休みや冬休みも数日間、9時から17時の間実施している。保護者は、子どもに無理のない時間を選択し参加している。

担当教員は預かり保育での子どもの様子を記録し担任に知らせることや、担任と話し合うことで子どもへの理解を深め、共通認識をもって関わることを大切にしている。

#### 【点検・評価と今後の取組】

預かり保育（なないろ）を利用する子どもが年々増えている状況から、仕事の他、学校行事等に参加する際に安心して子どもを預けられる場所となっていることがわかる。

2017年度学校評価の保護者アンケート調査によると、「お子さんは、預かり保育（なないろ）に喜んで参加していた（いる）と思いますか。」との設問に対し、「そう思う」との回答が66.3%であった。その結果を受けて、今年度は初めて参加する子どもを担当教員が把握できるように工夫し、子どもが戸惑わず安心して過ごせるようにした。更に、担当教員と担任の連絡を密にすることで、一人ひとりの子どもにとって有意義な取組になるよう努める。

### ウ 2歳児親子教室について

#### 【現状の説明】

入園前の親子を対象にあやし遊びやわらべうた等の素朴な親子遊び、木でつくられた玩具等で遊ぶ室内遊びや、ホール・園庭での運動遊びを通して、子どもと向き合う楽しさを感じてもらうための取組である。

2005年度に2歳児親子教室を開設してから今年度で13年を迎える。それぞれの親の様々な考え方や子育て観がある中、本園の教育方針に触れ、子どもの成長、発達の道筋に即し

た2歳児本来の姿を知ってもらう機会となるよう考え取り組んでいる。

本園の特徴を感じてもらえるようなこれまでの内容に加え、2013年度からは親子で一緒に遊ぶ機会を増やした。保護者に対しては、目の前で遊んでいる子どもの言動を見ながら、親としての関わり方や遊びの見方を伝えている。2013年度より年間19回、2クラスから3クラスに増設した。更に2018年度より1クラスを15組から20組に増やし希望者の多くが入室できるようにしているが、今年度も待機者がいるのが現状である。また、2014年度より2歳児親子教室の方を対象とした園庭開放を実施している。

#### 【点検・評価と今後の取組】

実際に子どもたちが遊んでいる姿を見ながら、または親子の関わりを見ながら保護者と話のできたので、子どものことを一緒に考え、子どもへの関わり方を具体的に伝えることができた。そのことは、「先生の子どもへの対応がゆったりとして参考になった。」「先生が子どもをゆっくり見てくれ、親として周りと比べあせりがちになる時もあったが、立ち止まることができた。」「子ども同士のやりとりを見て、学ぶことが多くあった。」「親子でのふれあい遊びやわらべうたは、家でも子どもと一緒に遊んだ。」「子どもの成長を感じられよかった。」という保護者の感想からも伺うことができる。親子教室を通して、親子遊びだけでなく、おやつ、絵本等、素朴なものの良さを保護者が感じる機会になっていた。また、保護者との会話の中で家庭での過ごし方や関わり方を伺うことができ、それぞれの子どもに合ったアドバイスができた。

今後、親子関係に役立つ保育内容を取り入れられるよう考える。

#### エ 教育相談について

##### 【現状の説明】

関西大学臨床心理専門職大学院教授と関西大学心理相談室カウンセラーによる専門的な教育相談を毎月2回設けている。また、園長による子育て相談は、希望される方に申し出てもらい、相談時間を保育時間中に設定している。

担任以外に専門家や園長との相談の窓口を設けることで、保護者の心の安定を図り、子どもとの関係をより良い方向に導くものになれるよう努めている。

##### 【点検・評価と今後の取組】

今年度も教育相談はそれほど利用されていない。その理由として、園で行われている個人懇談や連絡帳、園からの発信物により、重い悩みになる前に解決できており、現在、教育相談を利用する必要がない環境であると推察できる。

#### オ 「関大幼稚園で遊びませんか」について

##### 【現状の説明】

2012年度から3年保育への入園を検討している親子を対象に「関大幼稚園で遊びませんか」を設けている。在園児の保育に支障のないよう、参加の親子を6組に制限している。在園児と共に園庭で遊ぶことで幼稚園の雰囲気を感じ、また本園の保育や子ども観に興味を持ってもらうことを目的とし、園長は園庭で遊ぶ親子を見守りながら子育てを楽しめる

ように助言したり、心配事に耳を傾け一緒に考える機会をもつようにしている。

#### 【点検・評価と今後の取組】

園庭で年中児や年長児の遊んでいる姿や、参加者の子どもと在園児が関わっている姿を見て、園の保育や雰囲気を感じていただくことができていた。「遊びませんか」に参加したことが入園を決めるきっかけになった保護者は多い。また、園長と話す機会があることで、保護者が子育てについて考えられる機会となっている。

在園児の保育の弊害にならない程度に参加人数を増やすことを検討する。

#### (18) 園児募集について

##### 【現状の報告】

園児募集については、例年入園前年の7月からホームページ上で「入園概要について」と掲出し、8月末に朝日新聞と読売新聞、リビング吹田（タウン誌）に折込チラシを入れて告知している。また、入園希望者対象に「園内参観」と「遊びませんか？（在園児と園庭で遊ぶ）」を可能な限り実施し、2歳児親子教室参加者には園庭解放を行っている。9月初めに入園説明会（園内施設参観）を開き、その後3日間の園内参観日を設けており、参観時には在園児の保護者数名の協力を得て、参加者の質問に対応してもらっている。幼稚園選びの低年齢化がうかがえることに着目し、2015年度より2歳未満児とその保護者を対象とした「おいで、おいで」を開催している。2017年度より回数を増やし、ホールで身体を動かして遊ぶ機会を設けた。

2019年度の新入園児数に関しては、2018年10月1日の受付日に定員を満たし、待機者は7名であった。今年は転勤等が多く、受付日に待機となった方は全員入園していただいた。今年度はその後も入園に関する問い合わせが多くあり、2019年2月現在9名程の待機者がある。

##### 【点検・評価と今後の取組】

今年度は定員を満たし、待機者がいる状況である。

2012年度に初めて実施した「遊びませんか？」（翌年度入園希望者対象）は好評を得、2013年度から開催日を2年連続で増やした。更に今年度より上限6名の枠を外し、希望者を全員受け入れ、入園の動機づけとなっている。

今年度3回開催した「おいで、おいで」には26組の参加があった。参加者から、もう少し回数を増やしてほしいとの要望があり、来年度は回数を増やすことを検討する。

今年度の「2歳児親子教室」は定員を40組として募集したところ67組の応募があり、上限を60組に設定した。これらの取組が入園希望者数の増に影響を与えているのではないかと推察する。今後もこれらの取組を進め、園児確保に努めたい。



## 5 学校関係者評価委員会からの評価結果

### <自己点検・評価の適切性>

関西大学幼稚園では、これまで自己点検・評価の内容を3分類し3年で一巡する形で評価を続け、三巡するなかで過去との比較が随所にみられ、1回目より2回目、2回目より3回目と高い評価を得ている。今年度は、ほぼ毎月行われるクラス懇談会を活用し、子どもの様子や教育のあり方、教育内容を具体的に伝えることで、教育に対する保護者の関心と理解を深め、また意見や感想を収集することで、保護者の保育のニーズを理解する上で適切に自己点検・評価が行われている。

### <重点的な取組の適切性>

年少組での5月・6月・9月・10月・11月・2月のクラス懇談会、年中組での6月・7月・9月・10月・11月・2月のクラス懇談会、年長組での6月・7月・9月・10月・11月・2月のクラス懇談会において、今年度の自己点検・評価は、「自由遊び」「朝・帰りの集まり」「リズム運動」「歌・手遊び・わらべうた遊び」「端午の節句」「七夕」「お月見」「豆まき」「手伝い」「運動月間」「休日参観」「お店屋さんごっこ」「おやつ作り」「制作活動」「お弁当・給食」「野菜の栽培・季節の実り」「芋ほり・焼き芋」「人形劇」の教育内容に関することが行われている。月毎のクラス懇談会において、各担任から保護者にタイムリーに子どもの様子を伝え、更に具体的な教育内容の説明をし、実際に園児と同じ取組を体験してもらう等の工夫がなされたことで、保護者の理解度がより一層増していることがうかがえる。

次に「子育て支援」については、年々共働き世帯が増す社会情勢の中にあって、本園の「子育て支援」は社会的使命を果たしていると言えよう。また、保護者の事情に合わせて預かり保育をする「なないろ」に加え、年間を通じて同じ構成メンバーで保育を積み重ねる「希望クラス」を行っていることは本園の特徴であり、保護者の要望に応え、クラスを増設したり、保育時間を延長しながらも、子どもにとって心安らぐ幸せな時間となるために努力と工夫を重ねている。

「園児募集活動」においては、少子化でここ数年園児獲得に苦慮していたようであるが、今年度は多数の応募があり抽選を行っている。本園の地道できめ細かい教育のあり方や、長年守り実践し続けている教育の本質を問う教育姿勢が、園児獲得の要因として実を結んだに違いないと思われる。

### <自己点検の結果を踏まえた改善方策の適切性>

本園が取り組んできた自己点検・評価において、10年間に亘って積み重ねたアンケートの結果は、本園の運営を行う上で大切な指標となっている。今年度のクラス懇談会を活用し、特に実際の保育を保護者に体験してもらい意見や感想を収集することは、保護者からの質問や課題の提示に改めて向き合う機会となっており、幼稚園の誠実で真摯な態度を評

価したい。教育の本質を保護者に伝え、園と家庭の協力が子どもの育成には不可欠であることを認識し、その実践に邁進する更なる方策を、保護者の声から探究していることがうかがえる。

【学校関係者評価委員会委員名簿】

氏名	所属及び役職
北村 由美	関西大学大学院 心理学研究科 教授 ※評価結果取りまとめ執筆者
菅尾 美智子	関西大学幼稚園 はぐくみの会 会長
和田 千里	関西大学幼稚園 卒園生保護者
味園 貴子	関西大学幼稚園 卒園生保護者
石倉 千世	関西大学幼稚園 園長

6 「学校評価（自己点検・評価）報告書」に対する園長の意見書

関西大学幼稚園

園長 石倉 千世

本園の学校評価（自己点検・評価）は、「関西大学幼稚園教育課程」におけるすべての教育内容を大きく3つに分類し、3年かけて一巡する取組を2009年度より行い、昨年度で3巡目の点検・評価を行った。点検・評価に際して、保護者アンケートの数字を今後の取組の参考にしながら、幼児教育の重要性を変化する時代の中でいかに保護者に伝えていくべきか、工夫と努力を重ねてきた。

幼児教育は、何より保護者（家庭）との連携が大切である。現在の保護者（特に母親）の気持ちを理解することから始めなければ、なかなか子どもの成長に直結する好ましい影響を与えることは難しいように思う。価値観の多様化ということが言われ始めてから、子どもの姿や育て方についても様々な見方がされてきた。それゆえ子どもの姿や育ちぶりは、母親の評価と繋がる印象を母親自身が持っているようである。母親自身が評価を気にして、子育てに関する悩みごとが表面化しないこともあれば、母親にとっての子育ての現状は悩みではなく、「子どもが自分の言うことを聞かないで困っている」という感覚で受け止められていることがある。

最近、インターネットを気軽に利用し、自分のケースを当てはめて検索することでその場しのぎ的な解決法を得ながら子育てしているという話を耳にした。長年、「子育ては、育児書通りにはいかないもの」ということを伝え、母親の気持ちを楽にしたいと考え取組んできたが、“育児書”が“インターネットの情報”に代わっている実態を知り、早急に保護者への働きかけを工夫する必要があると感じた。

そこで今年度は、年に6、7回行う「クラス懇談会」において、教育内容の一部を保護者に体験してもらうことで教育の意図や重要性が伝わり、子育てに役立つものになっているかどうかを点検・評価した。また、アンケートにおいて保護者の悩みや意見を把握し、次回のクラス懇談会での題材にするように考えた。クラス懇談終了後に行った記述式のアンケートは、保護者の負担が大きいものであったと察するが、とても丁寧に記述いただき感謝している。在園児の保護者の熱心さを知ると同時に、今後も教職員一同で本園の教育の充実と質の向上に努める所存である。

## 7 アンケート結果

2018 年度 学校評価に関わるアンケート項目一覧・実施対象者別アンケート結果比較一覧表（関西大学幼稚園）

2018 年度 保護者アンケート結果一覧表

2018 年度 関西大学幼稚園 教員対象 学校評価に関するアンケート（用紙）

2018 年度 関西大学幼稚園 保護者対象 学校評価に関するアンケート（用紙）

2018年度学校評価に関わるアンケート項目一覧・実施対象者別アンケート結果比較一覧表(関西大学幼稚園)

保護者アンケート		教員用アンケート							
A	B	C	D	無記入	A	B	C	D	無記入
「歌・手遊び」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%	「歌」では、ピアノや教員や友だちの声に合わせて歌うことを意識して指導していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「朝の集まり・帰りの集まり」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「手遊び」では、友だちと一緒に楽しさを共有できるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「リズム運動」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%	「朝の集まり・帰りの集まり」では、教員や友だちの話を聞く姿勢を身に付け、自分の体験したことや感じたことを話すことを意識して取り組んでいますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「端午の節句」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	リズム運動では、ひとつひとつの動きのポイントを押さえて指導していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「お弁当・給食」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「端午の節句」では、由来や昔から伝わる風習に聞心が持てるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「七た」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「こいのぼり作り(絞り染め)」では、それぞれの子どもたちのペースで取り組み、様々な過程を根気や集中力をもって取り組めるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「野菜の栽培・季節の祭り」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「お弁当・給食」では、みんなが楽しく食べられる雰囲気を作るように心がけ、食事のマネーが身に付けられるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「お月見」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「みつろう粘土」では、感触を感じ、指先を使って様々なものを作りだすことを楽しめるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「おやつ作り」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	95.7%	4.3%	0.0%	0.0%	「七夕」では、由来や昔から伝わる風習に聞心が持てるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
<運動会参観についておたずねします>					「七夕飾りの制作」では、楽しんで取り組めるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
運動会参観にご家族のどなたかが参加されましたか。	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	「野菜の栽培・季節の祭り」では、野菜や実のなる木の成長・変化に興味を持てるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ア. プログラムは楽しめる内容でしたか。	94.3%	5.7%	0.0%	0.0%	「お月見」では、由来や昔から伝わる風習に聞心が持てるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
イ. 親子のプログラムではお子さんと楽しめましたか。	92.4%	7.0%	0.0%	0.6%	「わらべうた遊び」では、歌にあわせて身体を動かして、友だちと楽しんで取り組めるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ウ. 運動会ではお子さんの成長を感じられましたか。	94.3%	5.1%	0.6%	0.0%	「おやつ作り」では、おやつを食べること、あるいは作ることを楽しみにできるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「ぬらし絵」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	94.5%	5.5%	0.0%	0.0%	「運動月間」の参観日では、保護者も楽しめる取り組みができるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「自由遊び」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	96.1%	2.0%	0.0%	2.0%	「ぬらし絵」を通して、子どもが色の世界を楽しめるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「芋掘り・焼き芋」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	96.1%	2.0%	0.0%	2.0%	「自由遊び」を通して、友だちと関わり、一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「休日参観・お店やさんごっこ」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「芋掘り・焼き芋」を通して、芋の苗の成長・変化に関心を持たせ、収穫を楽しみにし、焼き芋をみんなで頂くことを楽しみにできるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「人形劇」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「休日参観」を通して、保護者に本園の保育を感じてもらえるように工夫しましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「手伝い」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「お店やさん」を通して、子どもたちと一緒に考え、自主的に取り組めるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「豆まき」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	98.0%	2.0%	0.0%	0.0%	「人形劇」では、環境を整え、お話の世界に入り込めるようにし、感性や想像力を育てるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「マフラー作り」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	96.7%	3.3%	0.0%	0.0%	「手伝い」を通して、子どもが意欲的に取り組めるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
					「豆まき」では、由来や昔から伝わる風習に聞心が持てるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
					「マフラー作り」では、それぞれの子どもたちのペースで取り組めるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
					「子育て支援についておたずねします。」>				

保護者アンケート		教員用アンケート				無記入	
A	B	C	D	A	B	C	D
				(1) 希望 (のぞみ) クラスについて			
				① 希望クラスの実施目的を保護者に伝えるよう努めましたか。	100.0%	0.0%	0.0%
				② 希望クラスは、子育て支援に有効だと思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%
				③ 参加園児は、希望クラスに喜んで参加していたと思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%
				④ 参加園児の保護者の方は、希望クラスに参加させて満足されたと思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%
				(2) 預かり保育 (なないろ) について			
				① 預かり保育 (なないろ) の実施目的を保護者に伝えるよう努めましたか。	100.0%	0.0%	0.0%
				② 預かり保育 (なないろ) は、子育て支援に有効だと思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%
				③ 参加園児は、預かり保育 (なないろ) に喜んで参加していたと思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%
				(3) 2歳児親子教室について			
				① 2歳児親子教室の意義を理解していますか。	100.0%	0.0%	0.0%
				② 2歳児親子教室は、子育て支援に有効だと思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%
				③ 2歳児親子教室に子どもたちは喜んで参加していたと思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%
				④ 2歳児親子教室に保護者は満足されたと思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%
				(4) 教育相談 (園長によるものを含む) について			
				① 教育相談の意義を理解していますか。	100.0%	0.0%	0.0%
				② 教育相談は、子育て支援に有効だと思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%

2018年度 関西大学幼稚園 保護者アンケート結果一覧表

項目	設問	無記入						無記入						
		A	B	C	D	A	B		C	D	A	B	C	D
年少5月クラス懇談会	「歌・手遊び」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		96.4%	3.6%	0.0%	0.0%	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
年中6月クラス懇談会	「リズム運動」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年長6月クラス懇談会	「端午の節句」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年少6月クラス懇談会	「お弁当・給食」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年中7月クラス懇談会	「七夕」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年長7月クラス懇談会	「野菜の栽培・季節の祭り」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年少9月クラス懇談会	「お月見」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年中9月クラス懇談会	「わらべうた遊び」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	97.9%	0.0%	2.1%	0.0%	97.9%	0.0%	2.1%	0.0%	97.9%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%
		97.9%	0.0%	2.1%	0.0%	97.9%	0.0%	2.1%	0.0%	97.9%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%
		97.9%	0.0%	2.1%	0.0%	97.9%	0.0%	2.1%	0.0%	97.9%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%
年長9月クラス懇談会	「おやつ作り」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	95.7%	4.3%	0.0%	0.0%	95.7%	4.3%	0.0%	0.0%	95.7%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		95.7%	4.3%	0.0%	0.0%	95.7%	4.3%	0.0%	0.0%	95.7%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		95.7%	4.3%	0.0%	0.0%	95.7%	4.3%	0.0%	0.0%	95.7%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
年少・年中・年長 11月クラス懇談会	運動会参観にご家族のどなたかが参加されましたか。 Aと答えた方にア、イ、ウの項目についておたずねいたします。 ア. プログラムは楽しめる内容でしたか。	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
全体	94.3%	5.7%	0.0%	0.0%	94.3%	5.7%	0.0%	0.0%	94.3%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
全体	96.1%	3.9%	0.0%	0.0%	96.1%	3.9%	0.0%	0.0%	96.1%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	

	項目	設問	設問						無記入
			A	B	C	D	無記入		
年少・年中・ 年長 11月ク ラス懇談会	<運動会 参観につ いておたす ねします>	イ. 親子のプログラムではお子さんと楽しめましたか。 ウ. 運動会ではお子さんの成長を感じられましたか。	92.4%	7.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
			94.3%	5.1%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
			94.7%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年少11月ク ラス懇談会		「ぬらし絵」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	96.1%	2.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	
年中11月ク ラス懇談会		「自由遊び」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	96.1%	2.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	
年長11月ク ラス懇談会		「休日参観・お店やさんごっこ」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
年少2月ク ラス懇談会		「人形劇」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
年中2月ク ラス懇談会		「手伝い」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	98.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
年長2月ク ラス懇談会		「マフラー作り」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	96.7%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

アンケートにご協力をお願いします。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 「朝の集まり・帰りの集まり」では、教員や友だちの話を聞く姿勢を身に付け、自分の体験したことや感じたことを話すことを意識して取り組んでいますか。

- A 意識して取り組んでいる
- B やや意識して取り組んでいる
- C あまり意識して取り組んでいない
- D 意識して取り組んでいない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「歌」では、ピアノや教員や友だちの声に合わせて歌うことを意識して指導していますか。

- A 意識して指導している
- B やや意識して指導している
- C あまり意識して指導していない
- D 意識して指導していない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

3. 「手遊び」では、友だちと一緒に楽しさを共有できるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

4. リズム運動では、ひとつひとつの動きのポイントを押さえて指導していますか。

- A 指導している
- B やや指導している
- C あまり指導していない
- D 指導していない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

5. 「端午の節句」では、由来や昔から伝わる風習に関心が持てるように働きかけましたか。

- A 働きかけた



- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

6. 「こいのぼり作り (絞り染め)」では、それぞれの子どものペースで取り組み、様々な過程を根気や集中力をもって取り組めるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

7. 「お弁当・給食」では、みんなと楽しく食べられる雰囲気を作るように心がけ、食事のマナーが身に付けられるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

8. 「みつろう粘土」では、感触を感じ、指先を使って様々なものを作りだすことを楽しめるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

9. 「七夕」では、由来や昔から伝わる風習に関心が持てるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

1 0. 「七夕飾りの制作」では、楽しんで取り組めるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

1 1. 「野菜の栽培・季節の実り」では、野菜や実のなる木の成長・変化に興味を持てるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

1 2. 「お月見」では、由来や昔から伝わる風習に関心を持てるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

1 3. 「わらべうた遊び」では、歌にあわせて身体を動かし、友だちと楽しんで取り組めるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

1 4. 「おやつ作り」では、おやつを食べること、あるいは作ることを楽しみにできるように働きかけましたか。

- A 働きかけた

- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

15. 「運動月間」の参観日では、保護者も楽しめる取り組みができるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

16. 「芋ほり・焼き芋」を通して、芋の苗の成長・変化に関心を持たせ、収穫を楽しみにし、焼き芋をみんなで頂くことを楽しみにできるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

17. 「自由遊び」を通して、友だちと関わり、一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

18. 「ぬらし絵」を通して、子どもが色の世界を楽しめるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

19. 「休日参観」を通して、保護者に本園の保育を感じてもらえるように工夫しましたか。

- A 工夫した
- B やや工夫した
- C あまり工夫しなかった
- D 工夫しなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

20. 「お店やさん」を通して、子どもたちと一緒に考え、自主的に取り組めるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

21. 「人形劇」では、環境を整え、お話の世界に入り込めるようにし、感性や想像力を育めるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

22. 「手伝い」を通して、子どもが意欲的に取り組めるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

23. 「豆まき」では、由来や昔から伝わる風習に関心が持てるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

24. 「マフラー作り」では、それぞれの子どものペースで取り組めるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B やや働きかけた
- C あまり働きかけなかった
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

<子育て支援についておたずねします。>

(1) 希望（のぞみ）クラスについて

① 希望クラスの実施目的を保護者に伝えるよう努めましたか。

- A 努めた
- B やや努めた
- C あまり努めなかった
- D 努めなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

② 希望クラスは、子育て支援に有効だと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

B、C、Dと答えた方はその理由と有効にするためにはどうすればよいかお書きください。

( )

③ 参加園児は、希望クラスに喜んで参加していたと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

(2) 預かり保育（なないろ）について

① 預かり保育（なないろ）の実施目的を保護者に伝えるよう努めましたか。

- A 努めた

- B やや努めた
- C あまり努めなかった
- D 努めなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

② 預かり保育（なないろ）は、子育て支援に有効だと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

B、C、Dと答えた方はその理由と有効にするためにどうすればよいかをお書きください。

( )

③ 参加園児は、預かり保育（なないろ）に喜んで参加していたと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

(3) 2歳児親子教室について

① 2歳児親子教室の意義を理解していますか。

- A 理解している
- B やや理解している
- C あまり理解していない
- D 理解していない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

② 2歳児親子教室は、子育て支援に有効だと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

B、C、Dと答えた方はその理由と有効にするにはどうすればよいかをお書きください。

( )

③ 2歳児親子教室に子どもたちは喜んで参加していたと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

④ 2歳児親子教室に保護者は満足されたと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

(4) 教育相談（園長によるものを含む）について

① 教育相談の意義を理解していますか。

- A 理解している
- B やや理解している
- C あまり理解していない
- D 理解していない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

② 教育相談は、子育て支援に有効だと思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

よろしければお名前をお書きください。

---

2018年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート（年少5月）

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「歌・手遊び」、「朝の集まり・帰りの集まり」についてお伝えしました。

1. 「歌・手遊び」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。

（1つ選んでください）

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「歌・手遊び」の話を聞いたり、一緒に行ったことで、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. 「朝の集まり・帰りの集まり」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。（1つ選んでください）

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

4. 「朝の集まり」の話を聞いたり、一緒に行ったことで、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

5. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---



2018年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート（年少6月）

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「お弁当・給食」についてお伝えしました。

1. 「お弁当・給食」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。（1つ選んでください）
- A 理解できた
  - B まあまあ理解できた
  - C あまり理解できなかった
  - D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「お弁当・給食」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。
3. みつろう粘土を触ってみて、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。
4. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2018年度 関西大学幼稚園 保護者対象

学校評価に関するアンケート（年少9月）

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「お月見」についてお伝えしました。

1. 「お月見」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。

（1つ選んでください）

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「お月見」の話を聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2018 年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート（年少 11 月）

アンケートにご協力をお願いします。

運動会の参観についておたずねします。

1. 運動会参観にご家族のどなたかが参加されましたか。

- A 参加した
- B 参加していない

\*A と答えた方にア、イ、ウの項目についておたずねします。

ア. プログラムは楽しめる内容でしたか。

- ① 楽しめた
  - ② まあまあ楽しめた
  - ③ あまり楽しめなかった
  - ④ 楽しめなかった
- ③または④と答えた方はその理由をお書きください。

( )

イ. 親子のプログラムではお子さんと楽しめましたか。

- ① 楽しめた
  - ② まあまあ楽しめた
  - ③ あまり楽しめなかった
  - ④ 楽しめなかった
- ③または④と答えた方はその理由をお書きください。

( )

ウ. 運動会ではお子さんの成長を感じられましたか。

- ① 感じられた
  - ② まあまあ感じられた
  - ③ あまり感じられなかった
  - ④ 感じられなかった
- ③または④と答えた方はその理由をお書きください。

( )

今回のクラス懇談会では、「ぬらし絵」についてお伝えしました。

2. 「ぬらし絵」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。

(1つ選んでください)

- A 理解できた

- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

3. 「ぬらし絵」の話を聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

4. ぬらし絵を行ってみて、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

5. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2018年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート（年少2月）

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「人形劇」についてお伝えしました。

1. 「人形劇」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。

（1つ選んでください）

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「人形劇」の話を聞いたり、見たりして思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2018年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート（年中6月）

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「リズム運動」についてお伝えしました。

1. 「リズム運動」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。（1つ選んでください）

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「リズム運動」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2018年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート（年中7月）

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「七夕」についてお伝えしました。

1. 「七夕」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。（1つ選んでください）

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「七夕」の話を聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. 七夕飾りの制作の話を聞いたことや、作ったことで、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

4. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2018年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート（年中9月）

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「わらべうた遊び」についてお伝えしました。

1. 「わらべうた遊び」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。（1つ選んでください）

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「わらべうた遊び」の話を聞いたり、一緒に行なったことで、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---



2018年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート（年中 11月）

アンケートにご協力をお願いします。  
運動会の参観についておたずねします。

1. 運動会参観にご家族のどなたかが参加されましたか。

- A 参加した
- B 参加していない

\*Aと答えた方にア、イ、ウの項目についておたずねします。

ア. プログラムは楽しめる内容でしたか。

- ① 楽しめた
- ② まあまあ楽しめた
- ③ あまり楽しめなかった
- ④ 楽しめなかった

③または④と答えた方はその理由をお書きください。

( )

イ. 親子のプログラムではお子さんと楽しめましたか。

- ① 楽しめた
- ② まあまあ楽しめた
- ③ あまり楽しめなかった
- ④ 楽しめなかった

③または④と答えた方はその理由をお書きください。

( )

ウ. 運動会ではお子さんの成長を感じられましたか。

- ① 感じられた
- ② まあまあ感じられた
- ③ あまり感じられなかった
- ④ 感じられなかった

③または④と答えた方はその理由をお書きください。

( )

今回のクラス懇談会では、「自由遊び」「芋掘り・焼き芋」についてお伝えしました。

2. 「自由遊び」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。

(1つ選んでください)

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

3. 「自由遊び」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

4. 「芋掘り・焼き芋」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。

(1つ選んでください)

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

5. 「芋掘り・焼き芋」の話を読み、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

6. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2018年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート（年中2月）

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「手伝い」「豆まき」についてお伝えしました。

1. 「手伝い」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。

（1つ選んでください）

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「手伝い」の話を聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. 「豆まき」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。

（1つ選んでください）

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

4. 「豆まき」の話を聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

5. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2018年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート（年長6月）

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「端午の節句」についてお伝えしました。

1. 「端午の節句」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。（1つ選んでください）

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「端午の節句」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. 絞り染めを行ったことで、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

4. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2018年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート（年長7月）

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「野菜の栽培・季節の実り」「夏休みの過ごし方」についてお伝えしました。

1. 「野菜の栽培・季節の実り」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。（1つ選んでください）

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「野菜の栽培・季節の実り」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのお書きください。

3. 「夏休みの過ごし方」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのお書きください。

4. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2018年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート（年長9月）

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「おやつ作り」についてお伝えしました。

1. 「おやつ作り」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。（1つ選んでください）

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「おやつ作り」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

アンケートにご協力をお願いします。

運動会の参観についておたずねします。

1. 運動会参観にご家族のどなたかが参加されましたか。

- A 参加した
- B 参加していない

\* Aと答えた方にア、イ、ウの項目についておたずねします。

ア. プログラムは楽しめる内容でしたか。

- ㉑ 楽しめた
- ㉒ まあまあ楽しめた
- ㉓ あまり楽しめなかった
- ㉔ 楽しめなかった

㉓または㉔と答えた方はその理由をお書きください。

( )

イ. 親子のプログラムではお子さんと楽しめましたか。

- ㉑ 楽しめた
- ㉒ まあまあ楽しめた
- ㉓ あまり楽しめなかった
- ㉔ 楽しめなかった

㉓または㉔と答えた方はその理由をお書きください。

( )

ウ. 運動会ではお子さんの成長を感じられましたか。

- ㉑ 感じられた
- ㉒ まあまあ感じられた
- ㉓ あまり感じられなかった
- ㉔ 感じられなかった

㉓または㉔と答えた方はその理由をお書きください。

( )

今回のクラス懇談会では、「休日参観・お店やさんごっこ」についてお伝えしました。

2. 「休日参観・お店やさんごっこ」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。(1つ選んでください)

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

3. 「休日参観・お店やさんごっこ」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構です。お書きください。

4. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---



2018年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート（年長2月）

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「マフラー作り」についてお伝えしました。

1. 「マフラー作り」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。（1つ選んでください）

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「マフラー作り」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. 指編みを行ったことで、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

4. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---